

新米種子島コシヒカリ出荷開始！



▲日本一早い新米コシヒカリの出発を祝福！

南種子ライスセンターで7月14日、日本一早い新米「種子島コシヒカリ」の出荷が始まりました。

出発式には、生産者や行政、経済連、JAなどの関係者が出席。関係機関の代表者がテープカットを行い、運搬車両のドライバーへ安全祈願の花束が贈呈され、出席者らが見守る中、収穫された新米が鹿児島パールライスに向けて出発しました。

宮脇幸喜組合長は「ここから出発する新米が、全国の消費者の皆様のもとへ一番乗りで届き、食卓に笑顔と元気をお届けできるものと確信している。『安心・安全』な早期米の安定供給に努めていきたい。」と話しました。

今期の出荷量は711トンを計画しており、出荷された種子島コシヒカリは、県内外の量販店で販売される予定です。

種子屋久農協花き振興会総代会を開催

7月10日、「種子屋久農協花き振興会総代会」が開催されました。

開会にあたり中島秀人会長が挨拶を述べた後、議長となり、第1号議案から第2号議案までの協議を行い、すべての議題が原案通り承認されました。

今年度の基本方針では、花き振興会および関係機関が一体となり、生産対策および販売対策の両面にわたり、引き続き粘り強く取り組むことを掲げています。総代会終了後は、JA鹿児島県経済連より、肥料農薬の情勢や中東情勢に伴う園芸資材の情勢について情報提供が行われ、今後の資材価格の動向について参加者は熱心に耳を傾けていました。

